

## 手書きノートテイクの工夫



齋藤 未和子  
佐藤 紘

1

## 授業に向けての工夫

### 工夫1) ペンの書きやすさ・読みやすさ

・利用学生にとって読みやすく、支援者(テイカー)がすらすら書けるペンを使用する。

### 工夫2) 文字の美しさ・バランス

・速く正確に文字を書く必要があるが、焦りは禁物。文字の大きさを均等に真っすぐ書くように練習する。

2

## 授業中に行った工夫

### 工夫3) 1枚に適度な情報量を入れる

A4の紙1枚に9行程度、1行に13文字程度を目安に書く。

### 工夫4) テイカー同士の連携 “読んでいます”

授業者が資料読み上げ時→

サブテイカーは「読んでいます」と声がけし、補助資料に赤線を引く。メインテイカーは、

<よ>と書いて利用学生に示す。

3

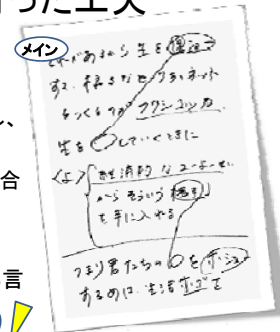
## 授業中に行った工夫

### 工夫5) 線や記号の活用

・資料の読み上げは、<よ>+キーワードとテイクし、大かっこで示す。  
・話題に大きな転換があった場合区切りとしての棒線をひく。

### 工夫6) 「つまり」を逃さない

・まとめたり、結論づけたりする言葉は必ずテイクする。



経済的な  
有用性から...

つまり...

4

## さらに工夫する場合

### 工夫7) 書き方を統一する

漢字を素早く書くために、カタカナで表記し下線を引く。

例: 福祉国家→フクシコッカ

### 工夫8) サブテイカーの役割

繰り返し使われる言葉は、サブのテイカーが略字を作り、利用学生とメインテイカーに伝える。

例: 福祉国家: (フ)

5

## 心がけていること

### ○教室の空気を大切に情報保障する

主観を極力入れず忠実に伝えると共にコミュニケーションのやりとりのおもしろさや教室から繰り出される様々な音も逃さず書く。



利用学生が周りの学生と共に教室の雰囲気を感じとれるように配慮する。

6

支援者個人の工夫も含まれています。  
筑波大学における支援の一例として  
ご参照ください。

## 手書きノートテイクの工夫

筑波大学


1

## ポイント

- ①読みやすく
- ②忠実に
- ③遅れずに

2

## 授業が始まるまでに行った工夫

- (1)授業名、日付、ピア・チューター氏名、  
ページ番号を所定の位置に書く。 …①
- (2)授業前に、レジュメを読んで内容を把握する。  
→ 授業担当者がレジュメを読み上げた時に、  
すぐに反応できるようにしておく。 …③  
→ **略語**を作っておき、ルーズリーフ1枚目の  
余白に明記。(ex.「福祉」→ ) …③

3

## 授業中に行った工夫

- (3)B5ルーズリーフに**15～20行**を目安に…①
- (4)**接続詞**は落とさずに書くようにする。…①②
- (5)書き損じた場合は、**二重線で消す** …②
- (6)聞き取れなかったり、あいまいな情報は、  
**その旨**を書いて伝える。 …②  
・聞き取れなかった情報→           ? と書く。  
・あいまいな情報→ ( ? ) を後ろに付ける。

4

## 授業中に行った工夫

- (7)レジュメの**読み上げ部分**について …①③  
・ルーズリーフには、(よみあげ+番号)と書く。  
・レジュメには、**下線+番号**を書く(※赤ペンで)。  
理由:聴覚障害学生がルーズリーフとレジュメを見て  
内容を理解する際、どうしても**タイムラグ**が生じる。  
→ レジュメのどの箇所と、ルーズリーフのどの箇所が  
**対応**しているのか分からなくなる。  
→ そこで番号を書いて、「レジュメの**該当箇所**」、  
「授業内容の**時系列・順番**」が分かるように工夫。

5

## 授業中に行った工夫

- (8)画数の多い漢字は**カタカナ**にして**下線**…③
- (9)**略字**を覚えておいて、使う。 …③  
(ex. 先生 / → T / 「問題」 → **向匙** )

## さらに工夫をする場合

- (10)**ニュアンス**をもらさないように書く。 …②  
(ex.「～だろう。」「今のところは～だ。」)

6



THINK × ACT  
KANSAI  
UNIVERSITY

## パソコンノートテイクの工夫

2012.12.2


山内 恵理香  
峯松 歩

関西大学

授業がはじまるまでの工夫


- ・文字色、背景色の統一  
聴覚障害学生と相談し、黒背景・白文字ですべてのパソコンの初期設定を統一している。誰がどのパソコンを使用しても同じ条件で使うことができる。
- ・単語登録  
固有名詞など一発で変換できないもの、頻出のキーワード等はチェックし、Fキーやユーザー辞書に登録しておく。

2012.12.2 1




授業中に行った工夫

- ・交代のルール等は設けない、柔軟なテイク  
基本的にはペアのテイカーが打ち込んでいる間に次の文章の打ち込みを行い、手が止まってしまった際にはもう片方が補ってやる。
- ・こまめに段落を変える  
話題の転換がわかりやすいようにするため。
- ・三人一組の体制  
パソコンテイク二人、補助一人。




2012.12.2 2



授業中に行った工夫

- ・補助の仕事  
手書きによるノートテイクで次の仕事を受け持ちます。


1. 図表を使った説明
2. 誤字脱字の訂正
3. 指示語の補足
4. 資料の説明
5. テイクに対する疑問への補足



→

- ・パソコンテイクの業務を行う支援スタッフが、よりテイクに集中できる環境づくり
- ・同時再現性を高めることが可能

2012.12.2 3





そのほかの工夫

- ・コミュニケーション  
聴覚障害学生と支援スタッフが授業時間外にもコミュニケーションをはかり、気軽に要望を伝えてもらえるような環境づくりをめざす。

また支援スタッフ同士も積極的にコミュニケーションをはかることで、ノートテイクの工夫等の情報を共有し、より一層の連携につとめる。

2012.12.2 4





## パソコンノートテイクの工夫

日本福祉大学 障害学生支援センター  
社会福祉学部4年 伊藤里奈  
社会福祉学部1年 中川昇子

テイク協力/パソコンテイクサークル  
子ども発達学部2年 和泉友一郎  
社会福祉学部1年 岡田 雄祐

1

## 授業が始まるまでの工夫

### 文字の大きさを調整

- 聴覚障害学生と話し合いをし、スクロールが速くなるため文字の大きさを調整した

### 「。」で自動改行の設定

- IPTalkの「。」で自動改行の設定をONにしている。入力中に改行の手間を省くため

2

## 授業中に行った工夫

### Fキーメモの利用

- 講義前に時間があればレジюмеに目を通し、専門用語などを登録しておく

### レジюмеや板書は省略せず出来るだけ入力


- (レジюме) などと入力せず、ノートを取って画面から目を見ながら話して後から見ても分かるように可能な限り文章で入力をする

3

## 授業中に行った工夫

### テイカー同士でフォロー

- 3人以上いる時、入力していないテイカーはレジюмеをめくったり聞き取れない時にフォローをする。テイカー同士の席は1つ空ける程度で小声で声を掛け合いフォローできるようにしている




4

## さらに工夫をする場合

### 出来るだけ要約せず教員の話した言葉で入力する

- 「～ですね」など言葉のまま入力したり、雑談まで入力をするとう講義での雰囲気も伝わるから

活動年数は短いですが聴覚障害学生と共に進めてきました。ここに関すること以外でも出来る限りお答えできると思います。  
ご清聴ありがとうございました



5